PHONAK
life is on

A Sonova brand

オーダーメイド式耳あな型補聴器

フォナック バート インフィニオ

Phonak Virto™ 1

取扱説明書

はじめに

このたびはフォナック補聴器をお買い求めいただき、誠にありがとうございます。

ご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。

また、この取扱説明書は保証書と一緒に大切に保管してください。

安全上のご注意（必ずお守りください）

お使いになる方や他の方への危害・財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを下記のように説明しています。

■ 表示内容を無視して誤った使い方をした場合に生じる危害や損害の程度を次のように区分し、説明しています。

⚠ 警告	この表示がある項目は、「死亡または重症などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠ 注意	この表示がある項目は、「損害を負う可能性、または物的損傷のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■ お守りいただく内容を次のように表示し、説明しています。

⃠ 禁止	この表示がある項目はしてはいけない「禁止」の内容です。

■ 安全にお使いいただくために

自分で操作ができない方、自分で意思表示ができない方が使用される場合は、必ず周りの方が気をつけて、一人で使用させないでください。
また、36か月未満の乳幼児へは使用しないでください。

ご使用にあたって

禁止

- 下記の項目に該当する場合は、補聴器の使用を中止し耳鼻咽喉科医師（補聴器相談医）の診察を受けてください。
  - 耳の治療中の方、外耳道に痛みまたはかゆみがある場合
  - 最近3ヶ月以内に耳漏があった場合
  - 最近2ヶ月以内に聴力が低下した場合
  - 最近1ヶ月以内に急に耳鳴りが大きくなった場合
  - 耳あかが多くたまっている場合
  - 耳の手術を受けたことがある場合
  - 聴力測定の結果、平均聴力の左右差が25 dB以上ある場合
  - 聴力測定の結果、500、1,000、2,000 Hzの聴力に20 dB以上の気骨導差がある場合
- 音量を大きくしすぎないでください。
- 騒がしいところでは音量を小さめにするか、長時間使用しないようにしてください。
- 強い衝撃を与えたり、落としたりしないようにしてください。
- 分解、改造をしないでください。感電、火災、故障、けがなどの原因になります。
- レントゲン撮影、CTスキャンなどの画像診断器で使用する放射線（X線など）の直接照射は補聴器に悪影響を与える場合があります。これらの機器を用いた撮影を行う前には医師に補聴器を外すかどうかをお尋ねください。
  またMRIスキャンは強い磁力を用いますので、MRI室に入る前には必ずお外しください。
- 高気圧酸素治療のときは圧力により発火や故障の恐れがあるため、治療室内に持ち込まないでください。

- 過度の湿気や高温な場所は避けてください。特に夏場は、窓や車のフロントガラスの近くには置かないようにしてください。
- 補聴器は完全防水ではありません。補聴器の内部に水が入ると故障する恐れがありますので、水に濡らさないでください。(例：お風呂に入るとき)
  また、強い水流を当てたり、水中に沈めたりしないでください。
- 電池は火中に投げ入れないでください。
- 補聴器本体、電池単体および付属品を子どもの手の届くところやペットのそばに保管しないでください。万が一、誤って飲み込んでしまった場合は、ただちに医師にご相談ください。電池の誤飲によって化学やけどを引き起こす可能性があります。
- 変形したり傷がある電池は使用しないでください。

⚠ 警告

- 通信機能が搭載されている器種におきましては、心臓ペースメーカ（およびICD）の動作に影響を及ぼす場合があります。
  心臓ペースメーカ（およびICD）を装着されている方は、補聴器を埋め込み部分から少なくとも15cm以上離してご使用ください。
- アンテナケーブルや外部アンテナなどのポータブルRF通信機器（携帯電話を除く）は、メーカーが指定したケーブルを含め、補聴器から30cm以内で使用しないでください。本装置の性能が低下する可能性があります。

⚠ 注意

- 指向性マイクロホンが作動している場合は、主に背後から来る音を抑えます。そのため、装用者の背後に近づく車の音や背後で鳴るクラクション（警告音）が聞こえにくいことがあります。
- 無線通信機能が作動している場所や、IHクッキングヒーター・電子レンジ・超音波洗浄機や自動ドアなどを使用している場所では、雑音が入ることがあります。これは補聴器の故障ではありません。補聴器を取り外すか、強力な電波（電磁波）を発する機器に近付かないようにしてください。
- 補聴器を使用しない場合は電池を取り出してください。そして湿気を取り除くために電池ホルダーを開けたままの状態で乾燥ケースの中に保管してください。
- ご使用になるまでは電池のシールをはがさないでください。ご使用の際にシールをはがし、30秒ほど待ってからご使用ください。
- 使用済みの電池は、各自治体指定の方法により処分をしてください。
- 小型家電リサイクル法により、不要になった補聴器は各自治体指定の方法によりリサイクルをしてください。尚、回収方法に関しては、各自治体のHP等にてご確認ください。
- 空港の保安検査場（セキュリティゲート）を通過する際に補聴器を取り外す必要はありません。補聴器が反応してしまった場合は、補聴器を装用していることを係員に伝えれば対応してもらえます。不安が残るようであれば、通過する前に係員に装用していることをお伝えください。
- 汗、湿気、皮脂、耳あか、整髪料などが補聴器内部に入ると故障する恐れがありますので、ご使用後はお手入れを行ってください。

- 補聴器を使用する前、あるいは使用中に次の症状がある場合には、使用を中止して耳鼻咽喉科医師の診察を受けてください。
  - 耳漏が生じたとき。
  - 耳の治療が必要になったとき。
  - 耳の聞こえが急に悪くなったと思えるとき。
  - 耳の皮膚が赤くなったり、かゆみ、湿疹が生じたとき。
  - 使用すると頭痛や疲れが生じるとき。
  - 補聴器の外観、音質、音量等に異常を感じたとき。
  - めまいが生じたとき。
  - 部品が耳中に残留したとき。
- 補聴器に異常が見られた場合は、お買い求めいただいた販売店へお持ち込みいただき一度ご相談ください。

（フィッティングを行う専門家の方へ）

- 132dB SPLを超える音圧レベルは、残存聴力を害する恐れがあるのでご注意ください。
- 安全規格に適合していない機器に補聴器を接続してフィッティングを行わないでください。

ご使用になる前に

- 補聴器は聞こえを元に戻すものではなく、聴力を補う機器です。
- 使い始めは音量を小さめにして、慣れてきたら徐々に音量を調節してお使いください。
- 補聴器はお客様専用に調整されていますので、他の人に貸したり、他の人の補聴器を装用しないでください。正しく調整されていない補聴器は効果がないばかりか、場合によっては耳を傷めたりする恐れがあります。
- 耳を治療中の方、治療をしたことがある方は主治医にご相談ください。
- 聴力の変化に伴い、補聴器の再調整が必要になる場合がございます。年に一度は耳鼻咽喉科専門医を受診されることをお勧めします。
- 耳鳴マスカ機能の使用には医師の処方が必要です。ご使用にあたっては必ず医師の指示に従ってください。

もくじ

はじめに 2
安全上のご注意（必ずお守りください） 3
ご使用にあたって 4
ご使用になる前に 8
本書の器種名の表記について 10
各部の名称 11
電池の交換方法 12
補聴器の使い方 15
プログラムスイッチについて 19
防塵・防水性能に関する情報と注意 21
ご使用後のお手入れ方法 22
耳あか防止フィルターの交換 23
補聴器の保管 25
初めてお使いになる方に 26
仕様・性能 27
トラブルシューティング 34
アフターサービス 36
シンボルマークの説明 37
保証について 39
Service Policy and Warranty 40
Compliance information 41

本書の器種名の表記について

フォナック バート Iは、電池サイズやグレード、レシーバの出力の組み合わせで合計18の器種が存在します。
器種名の見方については下記をご参照ください。

グレード		タイプ		パワー
フォナック バート I90 フォナック バート I70 フォナック バート I50 フォナック バート I30	×	チタン 10 NW 0	×	M P SP

MEMO

- チタンタイプのグレードは「I90」、「I70」のみです。

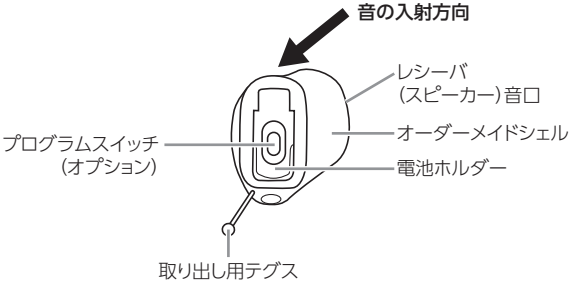
本文中では、器種名を一部省略する場合があります。該当器種の見方は次の表をご参照ください。

文中の表記（例）	該当器種
「バート I90」	フォナック バート I90-チタン M フォナック バート I90-チタン P フォナック バート I90-チタン SP フォナック バート I90-10 NW 0 M フォナック バート I90-10 NW 0 P フォナック バート I90-10 NW 0 SP

各部の名称

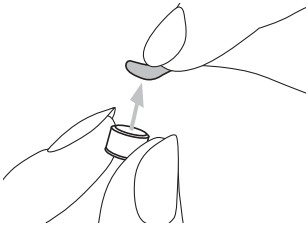
■ チタンタイプ／10 NW Oタイプ

電池サイズ：PR536（10）

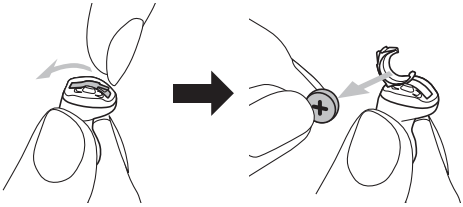


電池の交換方法

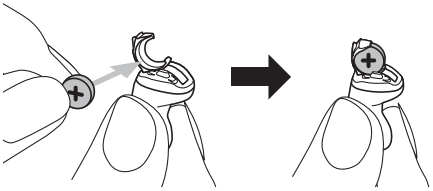
❶ 新しい電池の保護シールをはがします。シールが貼ってある側が（+）面です。



❷ 電池ホルダーを開け、使用済みの電池を取り出します。



❸ 新しい電池を入れます。電池の（+）面と電池ホルダーの＋マークが同じ方向になるようにあわせます。



❹ カチッと閉まるまで、電池ホルダーをゆっくり押します。

⚠ 注意

- 電池ホルダーは丁寧に扱い、無理な力を加えないでください。

MEMO

- 電池ホルダーがうまく閉まらない場合には、電池が正しく収納されているか確認してください。電池の（+）面と（−）面が逆向きに収納されている場合、きちんと閉まりません。
- 補聴器を使用しないときは、電池ホルダーを開けたまま保管してください。
- 電池がなくなりかけると、電池寿命お知らせ音（ピー、ピー）が鳴りますので、電池を新しいものに交換してください。
  （電池が使用できなくなる約30分前に鳴りますが、補聴器の使用状態によって異なります。）

補聴器の使い方

電源の入れ方／切り方

■ 電源の入れ方

電池ホルダーを閉めます。

■ 電源の切り方

電池ホルダーを開けます。

MEMO

- 電源を入れると、補聴器にあらかじめ設定された音量とプログラムが起動します。
- 電源を入れてから数秒後に音が出ます。スタートアップの遅延が設定されている場合は、さらに約6秒または12秒遅れて音が出ます。

補聴器の付け方／外し方

■ 装用の前に

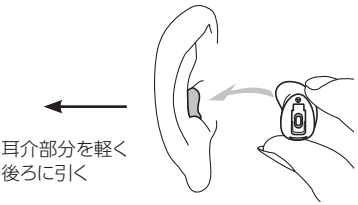
補聴器には左耳用・右耳用がありますので左右をご確認ください。

左耳用：青色、青色文字

右耳用：赤色、赤色文字

■ 補聴器の付け方

補聴器本体を図のように持ち、耳あなの後ろの耳介部分を軽く後ろに引きながらゆっくり入れます。



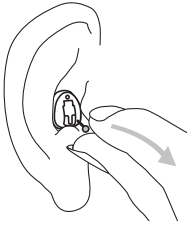
MEMO

- 補聴器が耳あなに入りにくい場合は、販売店にご相談ください。

■ 補聴器の外し方

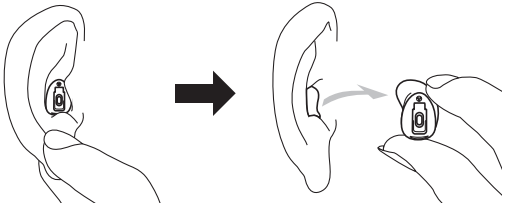
テグス付きの場合：

テグスを持ってゆっくり取り出します。



テグスがない場合：

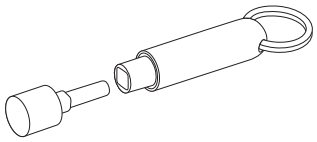
耳たぶを図のように持ち、耳たぶの後から親指で補聴器を押し上げます。少し出たら、補聴器をつかんでゆっくり取り出します。



フォナック ミニコントロール

フォナック ミニコントロールは、以下のいずれか1つの機能を調整できるリモコンです。詳しくは、フォナック ミニコントロールの取扱説明書をご参照ください。

- プログラムの切り替え
- ボリューム調節（↑ ↓のいずれかのみ設定可）

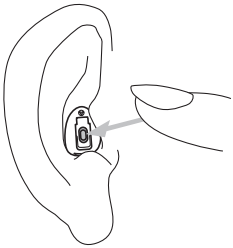


⚠ 注意

- 心臓ペースメーカやICD（植込み型除細動器）を装着されている方は、磁界に関する注意事項を取扱説明書等でご確認ください。
  また、決して胸ポケットには入れず、少なくとも15cmの距離を保ってご使用ください。

プログラムスイッチについて

あらかじめ設定しておくことにより、プログラムスイッチの押し方の違いで2通りの機能を使い分けることができます。
また、プログラムスイッチを無効にする（触れても作用しない）ことも可能です。



MEMO

- プログラムスイッチはオプションです。詳しくはお求めの販売店にご確認ください。

プログラムスイッチを短く押す

(以下のいずれかの設定でご使用いただけます)

①	プログラム切り替え
②	音量調節（上げる） 上限に達したあとは元の音量に戻ります。
③	音量調節（下げる） 下限に達したあとは元の音量に戻ります。

※ 図の横軸はステップ、縦軸は音量を表しています。

※ 設定内容については、お求めの販売店にご確認ください。

プログラムスイッチを長押しする

(以下のいずれかの設定でご使用いただけます)

①	スタートアッププログラムに戻る
②	マイクロホンの感度を下げる
③	設定したプログラムにジャンプする

※ 設定内容については、お求めの販売店にご確認ください。

防塵・防水性能に関する情報と注意

フォナック バート Iには、下記の防塵・防水性能が備わっています。この性能を維持するため、以下の注意点をよくお読みいただき、正しくご使用ください。

IP等級	対象製品
IP68	フォナック バート I-チタン フォナック バート I-10 NW 0

■ 一般的な注意点

ヘアスプレーやその他の化粧品を使用する場合、補聴器の聞き取りに影響が発生する可能性がありますので、耳から取り外したあとにヘアスプレー等をご使用ください。

■ 使用上における注意

- 補聴器は電池ホルダーが完全に閉じた状態でのみ防塵・防水性能を担保します。髪の毛等が挟まれないように電池ホルダーを完全に閉じてご使用ください。
- 汗やほこりが多く付いてしまった場合、乾いた布等できれいに拭き取り乾燥ケースに入れて乾燥させてください。(このときドライヤーは使用しないでください)
- 日ごろのケアや定期的な点検に関しては、以下をご参照ください。
  - スキューバダイビング、潜水、水上スキーやその他の水上でのアクティビティをされる前には補聴器を取り外してください。
  - 補聴器に水が付着することで電池への空気供給が制限されて一時的に補聴器の動作が止まることがあります。その場合は、柔らかい布もしくはティッシュで水分を拭き取り、濡れていないことを確認してから、電池ホルダーを開けて空気を供給してください。
- 防塵・防水性能を維持するために、異常の有無にかかわらず1年に一度のメーカーによるメンテナンスをお勧めします。

ご使用後のお手入れ方法

補聴器を長くお使いいただくために、日ごろからのお手入れをお勧めします。

1. 補聴器本体から電池を取り出します。
2. ティッシュペーパーや柔らかい布で、補聴器本体と電池に付いた汗や汚れを拭き取ります。
3. 電池ホルダーの中も湿気があるとさびやすいため、綿棒などで水分を取ってください。
4. 耳あかが音口部にたまると故障の原因となることがあります。付属のブラシで音口部を下に向けて掃除してください。

⚠ 注意

- 補聴器をお手入れする際に、家庭用洗剤（石鹸、洗剤粉など）は絶対にご使用にならないでください。

耳あか防止フィルターの交換

フォナック バート Iには、耳あかが進入してレシーバが故障しないように、耳あか防止フィルターが装着されています。
定期的に耳あか防止フィルターをチェックし、汚れていたり音質が低下している場合は交換してください。
交換する目安は4〜8週ごとです。

⚠ 注意

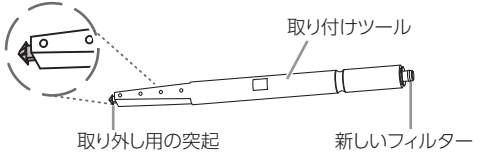
- 耳せんや耳あか防止フィルターの取り外し／取り付けを行うときは、無理な力を加えないようにしてください。

耳あか防止フィルターを交換する（セルストップの場合）

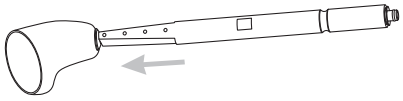
※ セルストップ以外の耳あか防止フィルターにつきましては、事前にお求めの販売店にて交換方法をご確認ください。

❶ ケースから新しいフィルターを取り付けツールごと取り出します。

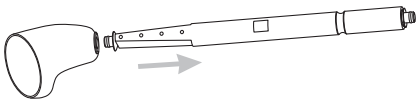
このとき、新しいフィルターと取り外し用の突起の向きをあらかじめ確認しておきます。



❷ 補聴器のレシーバ音口にある耳あか防止フィルターに、取り外し用の突起を差し込みます。

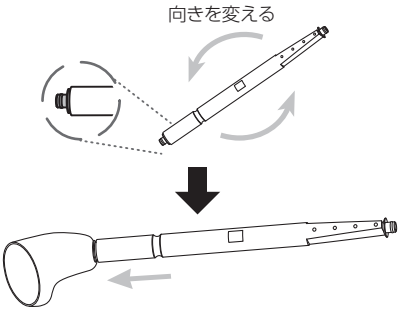


❸ まっすぐにゆっくりと耳あか防止フィルターを引き抜きます。



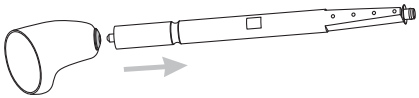
❹ 取り付けツールの向きを変えて、新しい耳あか防止フィルターを補聴器に取り付けます。

耳あか防止フィルターがレシーバ音口から抜け落ちないように、フィルターを確実に差し込んでください。



❺ まっすぐにゆっくりと取り付けツールを引き抜きます。

引き抜いたフィルターは取り付けツールごと廃棄してください。



補聴器の保管

通常の保管方法：
(乾燥ケースを使用される場合)
電池ホルダーを開けたまま補聴器を乾燥ケースに入れてください。

携帯する場合：
電池ホルダーを開けたまま補聴器を専用ケースに入れてください。
長期間補聴器をご使用にならない場合は電池を取り外しておいてください。

⚠ 注意

- 補聴器から必ず電池を取り出してください。
  補聴器から取り出した電池は電池寿命が短くなりますので乾燥ケースに入れないようにしてください。

初めてお使いになる方に

■ 第一段階

はじめは静かな家の中などで使用し、補聴器を付けることに慣れてください。最初は自分の声に違和感がありますが、本などを声に出して読んだりして違和感がなくなるまで練習します。練習は10分ほどから始めて徐々に長くしますが、疲れたらすぐ休んでください。

■ 第二段階

静かな部屋で、身近な人と一対一で話す練習をしましょう。

■ 第三段階

複数の身近な人と話をする練習をします。どの人が話をしているか聞き分けてみましょう。

■ 第四段階

慣れてきたら、外で聞く練習をします。

MEMO

- 補聴器の音が小さかったり、周囲の音が大きく感じたら販売店にご相談ください。補聴器の再調整が必要となります。

仕様・性能

■ 環境条件

製品は、本製品およびアクセサリのユーザーガイドにしたがって使用された場合に、問題や制限なく機能するように設計されています。補聴器の使用、輸送、保管は以下の条件下で行ってください。

	使用	輸送	保管
温度（℃）	5～40	-20～60	
湿度（%）	0～90 （結露しないこと）	0～93（結露しないこと）	
気圧（hPa）	500～1060		

- 輸送および保管中は、温度および湿度が表中の範囲を長時間超えないようにしてください。
- 補聴器が使用条件の範囲外の環境で保管および輸送された場合は、補聴器を使用環境に移動後、15分間待ってから電源を入れてください。

■ 電気音響的性能

- 本書に掲載した値はJIS C 5512:2015（2cm^{3}カプラで測定）による公称値です。
- 電池寿命は JIS規格に基づいて測定した電流値から換算した参考値です。（フォナック純正電池を使用したときの目安です。ご使用の状況・気温・温度などの環境の影響によって電池寿命は大幅に変わります。）

フォナック バート I90-チタン M
フォナック バート I70-チタン M
フォナック バート I90-10 NW O M
フォナック バート I70-10 NW O M
フォナック バート I50-10 NW O M
フォナック バート I30-10 NW O M

補聴器機能使用時

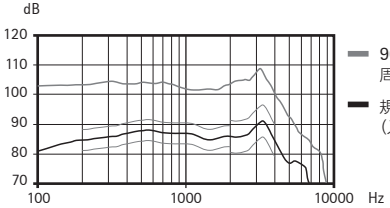
適応聴力範囲		軽度～中等度
最大音響利得（50dB入力）	ピーク値 HFA-FOG	40＋3 dB 以下 35±5 dB
90dB入力 **最大出力音圧レベル**	最大OSPL90 HFA-OSPL90	109＋3 dB 以下 103±4 dB
等価入力雑音		19＋3 dB 以下
全高調波ひずみ	500 Hz 800 Hz 1600 Hz	1.0＋3 %以下 1.5＋3 %以下 1.0＋3 %以下
規準周波数レスポンス	帯域幅 規準利得 (RTG)	f1<200 Hz f2>5000 Hz 26 dB
誘導コイル	ETLS HFA MASL	0±4 dB 60±6 dB

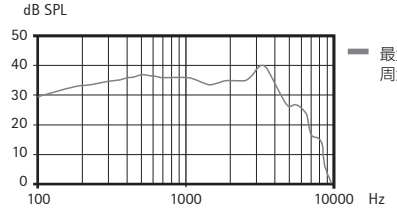
耳鳴マスカ機能使用時（ベント閉塞設定）

最大出力音圧レベル	ピーク値	65＋5 dB 以下
広帯域最大出力音圧レベル		79±5 dB

その他

電池の電流	1.44 (1.2+20%) mA 以下
使用電池	PR536（10）
電池寿命	55～75時間
利得調整器	可変幅 ±10 dB の場合約 2.0 dB ずつ 5 段階





フォナック バート I90-チタン P
フォナック バート I70-チタン P
フォナック バート I90-10 NW O P
フォナック バート I70-10 NW O P
フォナック バート I50-10 NW O P
フォナック バート I30-10 NW O P

補聴器機能使用時

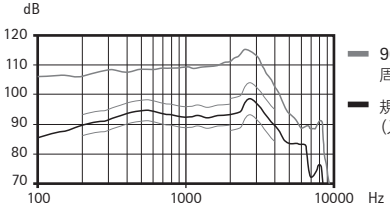
適応聴力範囲		軽度～高度
最大音響利得（50dB入力）	ピーク値 HFA-FOG	50＋3 dB 以下 46±5 dB
90dB入力 **最大出力音圧レベル**	最大OSPL90 HFA-OSPL90	115＋3 dB 以下 111±4 dB
等価入力雑音		19＋3 dB 以下
全高調波ひずみ	500 Hz 800 Hz 1600 Hz	1.0＋3 %以下 1.0＋3 %以下 1.0＋3 %以下
規準周波数レスポンス	帯域幅 規準利得 (RTG)	f1<200 Hz f2>5000 Hz 34 dB
誘導コイル	ETLS HFA MASL	0±4 dB 71±6 dB

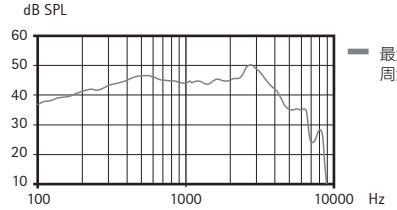
耳鳴マスカ機能使用時（ベント閉塞設定）

最大出力音圧レベル	ピーク値	67＋5 dB 以下
広帯域最大出力音圧レベル		79±5 dB

その他

電池の電流	1.44 (1.2+20%) mA 以下
使用電池	PR536（10）
電池寿命	55～75時間
利得調整器	可変幅 ±10 dB の場合約 2.0 dB ずつ 5 段階





フォナック バート I90-チタン SP
フォナック バート I70-チタン SP
フォナック バート I90-10 NW O SP
フォナック バート I70-10 NW O SP
フォナック バート I50-10 NW O SP
フォナック バート I30-10 NW O SP

補聴器機能使用時

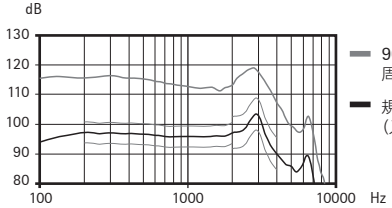
適応聴力範囲		中等度～重度
最大音響利得（50dB入力）	ピーク値 HFA-FOG	60＋3 dB 以下 54±5 dB
90dB入力 **最大出力音圧レベル**	最大OSPL90 HFA-OSPL90	119＋3 dB 以下 114±4 dB
等価入力雑音		19＋3 dB 以下
全高調波ひずみ	500 Hz 800 Hz 1600 Hz	1.0＋3 %以下 1.0＋3 %以下 1.0＋3 %以下
規準周波数レスポンス	帯域幅 規準利得 (RTG)	f1<200 Hz f2>5000 Hz 37 dB
誘導コイル	ETLS HFA MASL	0±4 dB 79±6 dB

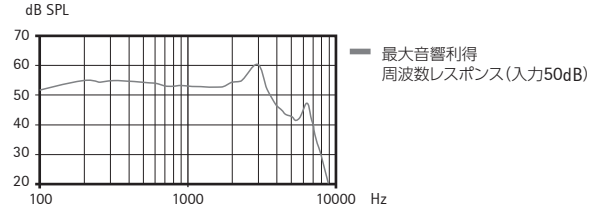
耳鳴マスカ機能使用時（ベント閉塞設定）

最大出力音圧レベル	ピーク値	69＋5 dB 以下
広帯域最大出力音圧レベル		79±5 dB

その他

電池の電流	1.44 (1.2+20%) mA 以下
使用電池	PR536（10）
電池寿命	55～75時間
利得調整器	可変幅 ±10 dB の場合約 2.0 dB ずつ 5 段階





トラブルシューティング

問題	原因
補聴器が動作しない	古い電池を使用しています
	音の入口や出口に耳あかやゴミがつまっています
	電池が正しく入っていません
	補聴器の電源がオフになっています
音量が十分でない	音量が小さすぎます
	電池残量が少なくなっています
	音の入口や出口に耳あかやゴミがつまっています
	耳の中に大量の耳あかがある
	正しく耳に入っていません
	聴力が変化しています
お知らせ音（ピー、ピー）が鳴った	電池残量が少なくなっています
電源がオン／オフを繰り返す	電池もしくは補聴器が濡れています

対処方法
新しい電池に交換してください（12ページ）
掃除してください（22ページ） もしくはお求めの販売店にご相談ください
正しく入れなおしてください
電池ホルダーをしっかり閉めてください
音量を上げてください（20ページ） もしくはお求めの販売店にご相談ください
新しい電池に交換してください（12ページ）
掃除してください（22ページ） もしくはお求めの販売店にご相談ください
耳鼻咽喉科医師の診察を受けてください
きちんと耳に入れなおしてください（16ページ）
耳鼻咽喉科医師の診察を受けてください
新しい電池に交換してください（12ページ）
乾いた布で水分を拭き取ってください

アフターサービス

■ 保証書（別途添付）

必ず「販売店名」、「お買い上げ日」などの記載をお確かめになり、大切に保管してください。

■ 修理について

保証書を一緒に販売店へお持ちください。保証書に記載された内容に応じて修理いたします。

■ その他

アフターサービスなどについてのご不明な点は、お求めの販売店までお問い合わせください。

この取扱説明書の内容は2025年4月現在のものです。各製品の仕様は予告なく変更される場合がございます。

※ この補聴器は耳を保護する目的で出力120dB SPL以下、利得25dB以下に設定し出荷いたしております。

シンボルマークの説明

CE XXXX	CE 記号は、アクセサリー類を含む製品が医療機器規則(EU) 2017/745の通信と通信機器・送信機の基準を満たしていることを示しています。CE 記号に続く番号は指導した認証機関のコードを表します。
	この記号は、補聴器を使われる人が取扱説明書に書いてある警告に十分な注意を払う必要があることを示しています。
	この記号は、製品の取り扱いと有効利用に関する重要な情報を示しています。
	この記号は、取扱説明書に載っている製品説明が EN60601-1のタイプB に則っていることを表します。
EC REP	この記号は、EC（欧州共同体）での指定代理人を示しています。
	この記号は、医療機器規則(EU) 2017/745に定義される医療機器の製造業者であることを示しています。
	この記号は、通常と異なるごみ処理が要求される可能性があることを意味します。処分される際はお住まいの自治体が定める方法に従ってください。
SN	この記号は、製品の製造番号（シリアルナンバー）を示しています。
REF	この記号は、この製品を特定できるメーカーのカタログ番号を示します。
MD	この記号は、製品が医療機器であることを示します。
	この記号は、磁気共鳴（MR）環境下（MRIスキャン中など）での使用が安全でない機器を示します。

	この記号は、補聴器を使われる人がこの取扱説明書に書いてある内容を読み理解してもらうことが大事であることを示しています。
IP68	IP規格・防水保護構造及び保護等級。IP68は、補聴器に水および塵に対する耐性が備わっていることを指します。IEC 60529の規格に準拠し、水深1mに60分間入れた後および粉塵試験装置に8時間入れた後でも、補聴器が耐えられることを示します。
	この記号は医療機器の製造日を示しています。

輸送／保管条件

	この記号は、製品の輸送、保管時の温度制限（上限値と下限値）を示しています。
	この記号は、製品の輸送、保管時の湿度制限（上限値と下限値）を示しています。
	この記号は、製品の輸送、保管時の気圧制限（上限値と下限値）を示しています。
	この記号は、製品の輸送、保管時に水濡れ厳禁であることを示しています。

保証について

■ 日本国内における保証期間

日本国内における本製品の無償保証期間は、フォナック バート I90はお買い上げ日より4年間、それ以外の器種は2年間です。お手元の保証書をご確認ください。
無償修理の際、保証書が必要になりますが、製品に同梱されている保証書に「販売店名」、「お買い上げ日」の記載があることを確認の上、大切に保管してください。

■ 日本国外における保証期間（国際保証）

日本以外の国における本製品の無償保証期間は、お買い上げ日より1年間です。保証対象は、シェル、アクセサリーパーツ、電池を除く補聴器本体となります。保証書に「販売店名」、「お買い上げ日」の記載があることを確認の上、大切に保管してください。
当規定は上記の修理保証規定により交換・修理をお約束するものであり、法律上のお客様の権益を制限するものではありません。

■ 保証適用除外

お客様または第三者の誤った使用・過失・改造による故障および損傷に対しての修理に関しては、保証期間内であっても保証適用外となります。修理は、ソノヴァ・ジャパンが指定するサービスセンターでのみ行ってください。
また、補聴器の専門家による補聴器の調整やアフターケア等のサービスに対しても、保証対象ではありません。

■ 紛失・盗難・全損時リニューアルサポート

紛失および盗難による本サポート適用には、保証書のほか、遺失届／盗難届等の証明書類が必要です。

Service Policy and Warranty

■ Local warranty

Please ask the hearing care professional where you purchased your hearing aid about the terms of the local warranty.

■ International warranty

Sonova AG offers a one year limited international warranty, valid from the date of purchase. This limited warranty covers manufacturing and material defects in the hearing aid, but not accessories such as batteries, tubes, earmolds and external receivers. The warranty only comes into force if a proof of purchase is shown.

The international warranty does not affect any legal rights that you might have under applicable national legislation governing sale of consumer goods.

■ Warranty limitation

This warranty does not cover damage from improper handling or care, exposure to chemicals or undue stress.
Damage caused by third parties or non-authorized service centers renders the warranty null and void. This warranty does not include any services performed by a hearing care professional in their office.

Compliance information

Electromagnetic emissions

Manufacturer's Declaration: The hearing aids are intended for use in the electromagnetic environments listed below. The user should assure that they are used in such environments.

Emissions Test	Compliance	Electromagnetic environment guidance
RF emissions CISPR 11	Group 1	The hearing aids generate or use RF energy only for their internal functioning. Therefore, the RF emissions are very low and are not likely to cause any interference to nearby electronic equipment.
RF emissions CISPR 11	Class B	The hearing aids are suitable for use in domestic establishment and in establishment directly connected to a low voltage power supply network which supplies buildings used for domestic purposes.

Immunity Test	IEC60601-1-2 Test Level	Compliance Level
Electrostatic Discharge (ESD) IEC 61000-4-2	+/- 8 kV contact +/- 2 kV , +/- 4 kV, +/- 8 kV, +/- 15 kV air	+/- 8 kV contact +/- 2 kV , +/- 4 kV, +/- 8 kV, +/- 15 kV air
Radiated RF Electromagnetic Field Immunity Test IEC 61000-4-3	10 V/m 80 MHz – 2.7 GHz 80% AM at 1 kHz	10 V/m 80 MHz – 2.7 GHz 80% AM at 1 kHz
Proximity Magnetic Field IEC 61000-4-3	9 V/m; 710, 745, 780 MHz; Pulse modulation 18 Hz 9 V/m; 5240, 5500, 5785 MHz; Pulse modulation 217 Hz 27 V/m; 385 MHz; Pulse modulation 18 Hz 28 V/m; 450 MHz FM +/- 5 kHz deviation; 1 kHz sine 28 V/m; 810, 870, 930 MHz; Pulse modulation 18 Hz 28 V/m; 1720, 1845, 1970, 2450 MHz; Pulse modulation 217 Hz	9 V/m; 710, 745, 780 MHz; Pulse modulation 18 Hz 9 V/m; 5240, 5500, 5785 MHz; Pulse modulation 217 Hz 27 V/m; 385 MHz; Pulse modulation 18 Hz 28 V/m; 450 MHz FM +/- 5 kHz deviation; 1 kHz sine 28 V/m; 810, 870, 930 MHz; Pulse modulation 18 Hz 28 V/m; 1720, 1845, 1970, 2450 MHz; Pulse modulation 217 Hz

Immunity Test	IEC60601-1-2 Test Level	Compliance Level
Rated power frequency magnetic fields IEC 61000-4-8	30 A/m 50 Hz or 60 Hz	30 A/m 50 Hz or 60 Hz
Enclosure Port Immunity to Proximity Magnetic Fields IEC 61000-4-39	Test frequency 30kHz, modulation: CW, Immunity test level 8 Test frequency 134, 2 kHz, Pulse modulation: 2.1 kHz, Immunity test level 65 Test frequency 13.56 kHz, Pulse modulation: 50kHz, Immunity test level 7.5	Test frequency 30kHz, modulation: CW, Immunity test level 8 Test frequency 134, 2 kHz, Pulse modulation: 2.1 kHz, Immunity test level 65 Test frequency 13.56 kHz, Pulse modulation: 50kHz, Immunity test level 7.5

Memo

Memo

Memo

7 613389 763164

製造販売業

ソノヴァ・ジャパン株式会社

〒140-0002

東京都品川区東品川2-5-8

天王洲パークサイドビル

TEL 0120-06-4079（お客様相談窓口）

FAX 0120-23-4080

https://www.phonak.com/ja-jp

許可番号 13B2X10021

管理医療機器　オーダーメイド式耳あな型補聴器

販売名：フォナック バート インフィニオ

認証番号 307ALBZX00008000

販売店名

sonova
HEAR THE WORLD

CE 0459

029-1359-17/202504/V1.0 Printed in Japan ©Sonova AG All rights reserved